

風景や静物画 リアルに描く

岐阜市で色鉛筆画展

写真と見間違えるようなリアルティーのある色鉛筆画を描くあだち雅(本名足立雅人)さん(64)＝岐阜市金竜町＝の作品展が同市神田町の岐阜信用金庫本店で開かれている。風景などを細密に描写した17点が並ぶ＝写真＝。26日まで。

あだちさんは、色鉛筆画家林亮太さん＝東京都＝の作品に感銘を受け、2015年に独学で色鉛筆画を始めた。岐阜市金竜町で足立鐵工所を経営する傍ら、県内外のグループ展に出展。今年7月にはFUKUIサムホーランド美術展で入賞するなど、精力的に創作活動に取り組んでいる。

「色鉛筆画は気軽に始められる」とあだちさん。「作品を見て、興味を持ってくれたらうれしい」と話す。

(武藤直子)

会場には、同市若宮町の檀森神社を描いた処女作から近作を展示。米アラスカ州で釣った1・2匹のキング

